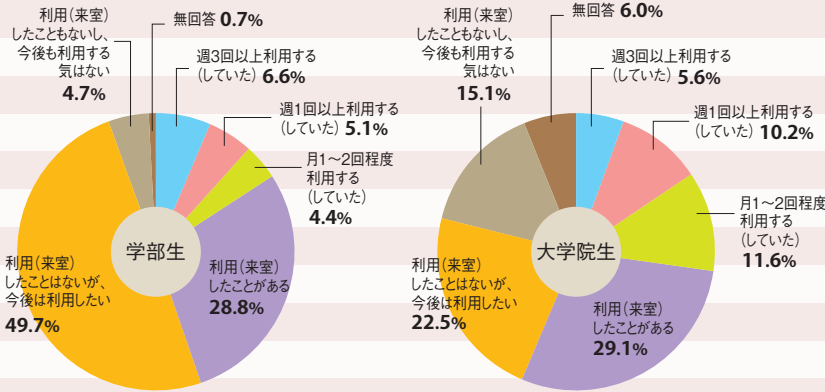


～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

教職キャリア開発センターの利用状況

利用(来室)したことがありますか

※平成24(2012)年4月以降。職に就いている人を除く



4年生で利用者増
教採対策の心強い味方

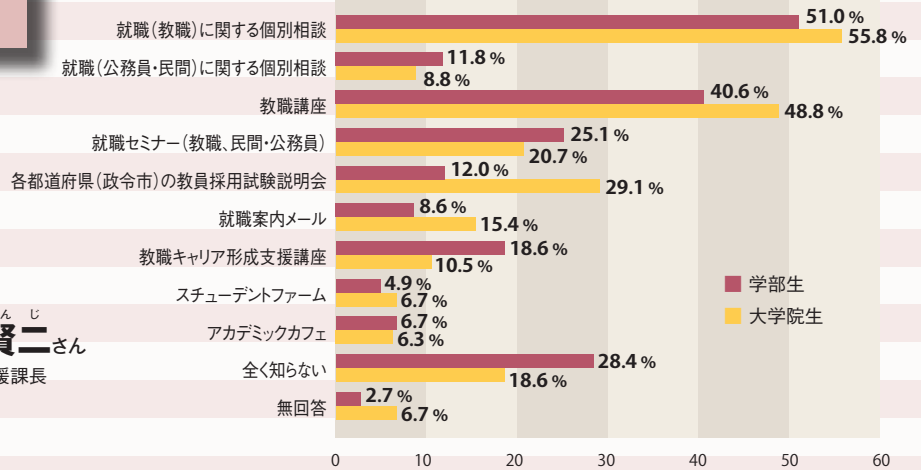
平成24(2012)年に発足した教職キャリア開発センターの利用(来室)者の割合は、大学院生全体で56.5%、特に専門職学位課程(教職大学院)に限れば77%にも上る。

学部生は1年生16%、2年生29%、3年生54%、4年生92%と、教員採用試験が近づくにつれて利用者は増える。「利用したことがある」に、「今後は利用したい」を加えれば全体の約9割に達することから、ほとんどの学部生が在学中にセンターを利用するといえるだろう。センターが実施する行事・活動の周知度については、全体では「就職(教職)に関する個別相談」「教職講座」「就職セミナー(教職・民間・公務員)」の順で多かった。

私が感じる教員採用試験に合格する学生の共通点は3つ。①本命と併願先の自治体の試験内容・傾向を熟知して効率的に準備している②大学のリソース(教職員、施設設備、講座等)を最大限に活用している③教採対策の大変さや喜びを分かち合う仲間を持っている。センターは教採に関する情報の宝庫であり、同じ目標を持つ仲間が集う場所です。活用しない手はありません。

センターが実施している行事・活動で、内容を知っているものは(複数回答可)

※職に就いている人を除く



効果的な情報収集が
教採対策の鍵



ふじ わら けん じ
藤原賢二さん
キャリア支援課長

弱点克服につながった
面接の個別指導



たに だ み き
谷田美樹さん
学校教育学部
学校教育系コース4年

教員採用試験に向けてとても役立ったのが、指導員の方と1対1で行う面接の練習です。毎回、こちらの希望に応じた模擬面接をしてくださり、自分の弱点を克服する上で参考になりました。指導員の方にはいつも課題を指摘されましたが、たまに褒めていただくと自信になり、試験当日も落ち着いて臨むことができました。

教職講座で
モチベーションアップ



たむら なお き
田村尚基さん
大学院修士課程
認識形成系教育コース2年

教職講座では、相談員の方が親身になって面接や模擬授業のポイントなどを指導してください。中でも、模擬面接は本番さながらの雰囲気を感じました。講座に参加することで教採に向けてのやる気が一層高まります。学部生、大学院生を問わず、教採を控えた方全員に参加してもらいたいです。合格を力強くサポートしてくれること間違いなしです。